

# Shionogi Business Report

2021年度 第157期 上期 2021年4月1日～2021年9月30日 証券コード：4507

## 株主の皆さまへ

シオノギグループは「シオノギの基本方針」にある「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」ことを全ての活動の礎としていますが、私たちを取り巻く環境の変化を受け、医療用医薬品を中心に提供する「創薬型製薬企業」から広くヘルスケアサービスを提供する「HaaS\*企業」への変革に取り組んでいます。社会に対して新たな価値を提供し続けていくことで、事業のサステナビリティを実現するとともに、患者さまや社会の抱える課題をより包括的に解決していくことを目指しています。

\*HaaS: Healthcare as a Service



代表取締役社長

手代木 功

## 「薬ができることの、その先へ。」

従来の製薬ビジネスの枠にとらわれない進化を遂げ、HaaSを実現させるという強い意志をメッセージに込めた企業CMを2020年10月より提供しています。感染症のトータルケアによって人々に寄り添い、人々の幸福に貢献し続けたい、という想いから生まれたCMで、シオノギ従業員の日々の活動の様子をリアルに描きました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な蔓延による社会の混乱が続く中、シオノギは感染症のリーディングカンパニーとして、COVID-19の終息に向けた様々な挑戦を続けてまいります。

薬ができることの、その先へ。



# 感染症に対するシオノギの取り組み

シオノギは、60年以上にわたって感染症の研究開発を続けており、多くの感染症治療薬の創出と提供を通じて、世界の発展に貢献してきました。現在も、感染症のトータルケアを目指し、啓発活動に加えて、流行予測から予防、診断、治療、そして重症化抑制と、多岐にわたる取り組みを展開しています。喫緊の社会課題であるCOVID-19に対しても、パンデミックの早期終息に向け、ワクチンや治療薬の開発、下水疫学の社会実装など、トータルケアを実現するための活動を進めています。

また、感染症領域においては、COVID-19のパンデミック以外にも、インフルエンザ、既存の抗菌薬に対するAMR(薬剤耐性)の問題、人類を苦しめ続ける三大感染症(HIV、結核、マラリア)など、取り組むべき課題が多くあり、新たなソリューションの提供が必要とされています。シオノギは重要課題として掲げている「感染症の脅威からの解放」を実現するために、引き続きこれらの課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。

## シオノギが目指すCOVID-19のトータルケア

流行予測



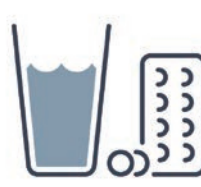
予防



診断



治療



重症化抑制



## COVID-19に対する取り組み(予防ワクチンの開発)

シオノギは、グループ会社である株式会社UMNファーマの技術をベースに、国立感染症研究所、九州大学(その後、京都大学)と共同し、ウイルスのスパイクタンパク質を抗原とする遺伝子組み換えタンパクワクチンの開発に取り組んでいます。2021年10月20日には国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験\*を開始しました。また、早期の供給開始を目指して、開発と並行して生産体制の構築を進めています。株式会社UNIGEN(原薬製造)、アピ株式会社(製剤製造)と連携し、2021年3月末に第1期の工事が完了し、最初の製造設備が完成しました(右図)。2021年度内の供給開始を目標に、今後も取り組みを推進してまいります。



\* 本試験はAMEDの「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチン開発」に採択され支援を受けています

## COVID-19に対する取り組み(経口治療薬の開発)

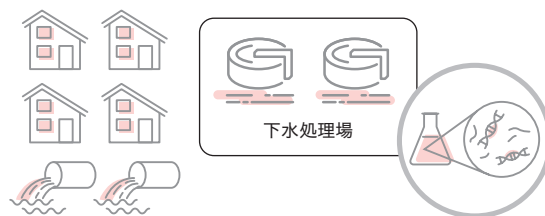
仮に優れたワクチンが世界に行き渡ったとしても、感染を100%抑えることはできません。人々の不安を解消し、平穏な社会を取り戻すためには、安全で抗ウイルス効果の高い治療薬が必須です。シオノギは、経口投与が可能な抗ウイルス薬の臨床試験を2021年7月から開始し、2021年9月からは国内開発の最終段階にあたる第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験を実施しています。この試験で有効性と安全性を確認した上で承認申請することを予定しています。引き続き、経口治療薬の早期提供を目指して、取り組みを推進してまいります。

## COVID-19に対する取り組み(下水疫学の社会実装)

シオノギは、下水中に含まれる新型コロナウイルスの濃度を定期的にモニタリングし、地域における新型コロナウイルス感染状況を調査するサービスを提供しています。2021年6月よりサービスを開始し、複数の自治体へサービスの提供を拡大しています。本サービスによって、早期に流行を検知し、対象地域や特定施設における感染状況の把握を可能にすることで、行政による効果的な感染防止対策の実施に貢献したいと考えています。

### ■ 自治体向けサービス

採水施設の上流域における新型コロナウイルスの蔓延状況・流行の起点や収束の疫学調査指標として使うことができます。



下水サンプル中のウイルス痕跡を測定  
▶ 上流域の感染状況を検知

## AMR(薬剤耐性)に対する取り組み

AMRとは、微生物が抗生物質に対して耐性を持つことで、抗生物質が効きにくくなる、または効かなくなることです。対策を取らなかった場合、2050年までに世界中で年間1000万人超が命を落とす問題に発展すると推計されており、社会に対して深刻な損失をもたらす喫緊の課題です。シオノギはAMRへの対策として、世界的に問題となっている耐性菌に対して幅広く効果を発揮する抗菌薬「セフィデロコル」の提供や、AMR対策に関する国内外の取り組みに積極的に参画しています。また、セフィデロコルについては、各国が一定金額を支払うことで必要な時に抗菌薬を受け取ることができる、サブスクリプションモデルの採用国の拡大を目指しています。サブスクリプションモデルの採用国拡大により、感染症の流行の有無にかかわらず収益を確保できるため、ビジネスの安定化につながります。

### ■ AMRを取り巻く課題



※ O'Neill, J. Review on Antimicrobial Resistance (2016)



FETROJA(セフィデロコル)

## HIV感染症に対する取り組み(ヴィーブ社との新規ライセンス契約)

シオノギは、新たな抗HIV薬候補であるS-365598の導出に関するライセンス契約を、英国ヴィーブ社との間で締結しました。本契約により、シオノギは契約一時金を受領し、今後は開発の進展に応じたマイルストーン収入を受領予定です。S-365598は3カ月以上に1回の投与による治療を可能とする抗HIV薬候補であり、患者さまのQOL向上に貢献することが期待されています。2023年までに臨床試験を開始する予定です。中長期的なロイヤリティ収入の柱として、既存薬のドルテグラビル、カボテグラビルの価値最大化とともに開発を推進してまいります。

ドルテグラビル

世界中で  
1,700万人が服用

カボテグラビル

世界初の  
長時間作用型製剤

S-365598

HIVと共に生きる人々の  
QOLのさらなる改善



## 2021年度 上期業績結果と通期業績の見通しについて

2021年度上期業績は、売上収益、各種利益項目の計画を達成しました。

通期業績につきましては、好調な上期結果を受け、売上収益予想を上方修正する一方で、COVID-19の治療薬やワクチン、その他注力プロジェクトへの積極投資や、不透明な外部環境を考慮し、各種利益項目は従来予想を据え置いています。

### 21年度上期業績

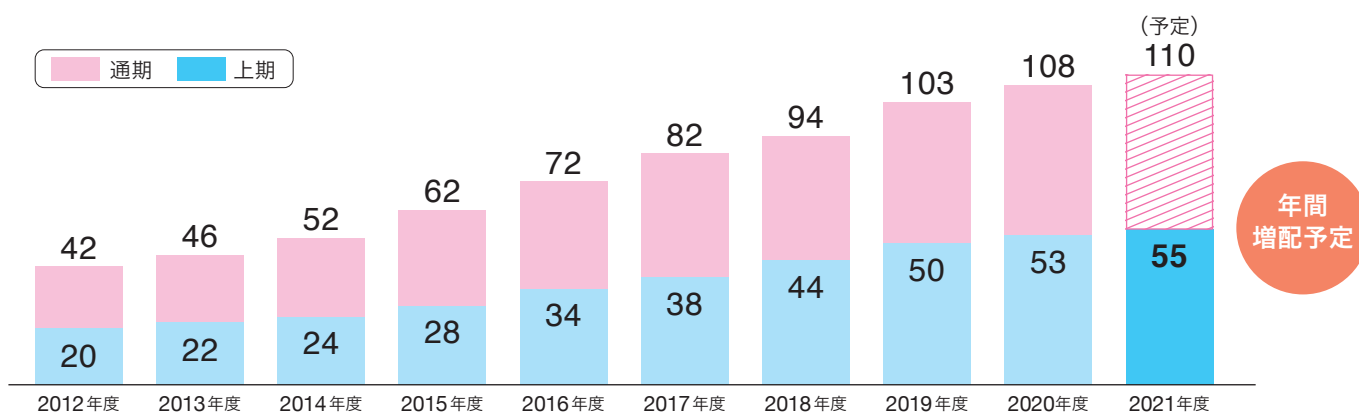
国際財務報告基準(IFRS) 単位:億円

	売上収益	営業利益	コア営業利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益
21年度上期予想	1,350	385	385	495
21年度上期実績	1,451	427	439	531
対上期進捗率	107.5%	110.8%	113.9%	107.3%

## 株主還元について

### 配当

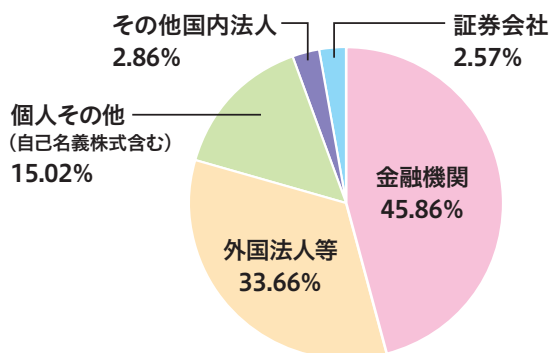
配当につきましては、株主の皆様にもシオノギの成長とともに実感いただけるよう、DOE(株主資本配当率)4.0%以上を指標とし、安定的な増配を目指します。通期配当は110円を予定しており、今中間期配当は、1株当たり55円となります。



1株当たりの年間配当金

### 株式の状況

- 発行可能株式総数 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 311,586,165株 (自己株式10,102,277株を含む。)
- 株主数 88,160名
- 所有者別株式分布



(注)所有者別株式分布状況は自己株式を「個人その他」に含めて、表示しております。

#### 《株式事務手続のご案内》

◆住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお届出およびご照会先

証券会社等の振替口座で保有されている株式に関する手続	株主様が口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録された株式に関する手続	当社が特別口座を開設している三井住友信託銀行 (ご照会は上記の電話照会先をお願いいたします。)

### 株主メモ

- ◇事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇定時株主総会 6月
- ◇基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇単元株式数 100株
- ◇公告掲載方法 電子公告  
当社インターネットホームページ (<https://www.shionogi.com/jp/ja/investors.html>) に掲載しています。
- ◇上場証券取引所 東京
- ◇証券コード 4507
- ◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号) 三井住友信託銀行株式会社
- ◇株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>



〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号  
<https://www.shionogi.com/jp/ja/>

